

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 26日

事業所名 三草二木西園寺

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○ 3	○ 1		フィットネスはサービスとして使用できる	
	2 職員の配置数は適切である	○ 3	○ 1		多機能型による柔軟な見守り体制がある	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○ 3	○ 1			段差はある部分は、スロープ等でその都度対応
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○ 4			全スタッフでの毎月会議開催。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○ 3	○ 1			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○ 3	○ 1		毎年HPIにて公開	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○ 1	○ 3	法人内部監査の定期受診	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○ 3	○ 1		内部・外部研修の活用	研修後に事務所内での報告会の実施を行っている。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○ 4				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○ 3	○ 1		発達段階に応じた年1回のアセスメントを実施	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○ 4				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○ 4			アンケートの定期実施	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○ 4			それぞれの個人・家庭状況に応じた支援を実施している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○ 4				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○ 4				・支援開始前に日案のもと、簡単に打ち合わせをすることもあるが、必ずしも行われていない。しっかり打ち合わせをし、共通理解をしていくようにしていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○ 2	○ 2		夕礼の実施	時間や人数の関係上その日のうちにできない日もまれにある。 ・別日に打合せを行うようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○ 3	○ 1			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○ 4				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○ 3	○ 1				
関係機関や 保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○ 3	○ 1			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○ 4				

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○ 1	○ 2	○ 1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○ 3	○ 1		・全員ではないが幼少時や以前利用していた事業所と情報を共有しているケースがある。 ・相談員の方を通して情報を共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○ 4				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○ 4				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○ 3	○ 1			・施設の特徴上、常日頃から障害のない子どもたちとも交流できている。 ・児童館などを利用する機会は設けているが、コロナ禍でなかなか行けていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○ 3	○ 1		小松市自立支援協議会への参加(当事者含め)	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○ 4			・連絡帳や、電話、送迎時にその日の様子や今後の課題を話し合っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○ 1	○ 1	○ 2		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○ 4			・契約や見学の際、伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○ 4			・保護者の様子や、子どもの様子を見てこちらから声をかけることや、必要に応じて相談を受けることがある。 ・各家庭の相談を随時聞いている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○ 3	○ 1		事務所や各サークルの自由見学	保護者会の実施 (コロナにより今年度は未実施)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○ 4			職員への情報共有をタイムリーに実施	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○ 3	○ 1		・お知らせの紙面に、月ごとの活動概要や行事予定、必要に応じて連絡事項も載せて発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○ 4			鍵付き棚の利用や利用方法についての規定整備	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○ 4			絵カードやルーツの利用	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○ 4			・地域の方といつも触れ合える事業所のため、行事も地域密着型で行っている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○ 4				・各マニュアルを策定し職員に周知している。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○ 2	○ 2		・近くの消防署で見学や防災訓練を行った	・地域の自主防災訓練に参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○ 4			各種研修会への参加	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○ 3	○ 1			・現時点でやむを得ず身体拘束を要する利用者はいないが、手順や書式・体制は整えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○ 4				・アレルギー症状が出た際の対応を周知している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○ 4				・ヒヤリハット報告書を集積して保管し、随時閲覧できるようにされている。